

【八女地区障害者地域生活支援拠点等事業について】

《障害者地域生活支援拠点等とは》

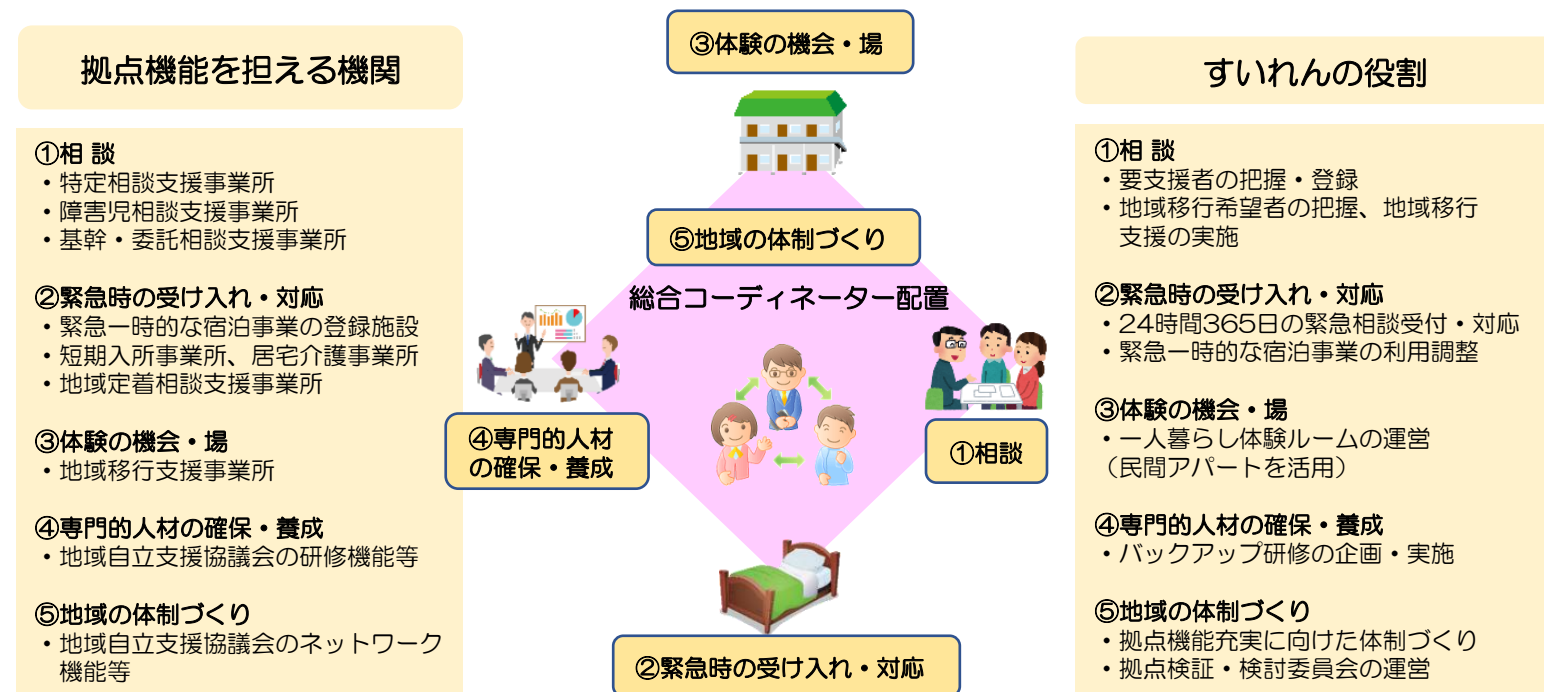
障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、
居住支援のための5つの機能(相談、緊急受け入れ・
対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地
域の体制づくり)を備えた拠点のことで

八女地区では、平成30年4月に八女地区障害者
地域生活支援拠点センターすいれんを開設し、現在、
総合コーディネーター2人を配置し、障がいのある
方の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の
構築に向けて、日々、取り組んでいます。

(総合コーディネーター:上横山福祉会から1名、リーベルから1名)

八女地区の地域生活支援拠点等 イメージ図 ～平成 30年4月設置 面的整備～

社会福祉法人の施設空床を活用した緊急受け入れ、基幹相談支援センターの相談機能を活用した面的整備
常勤コーディネーターを配置し、緊急時対応や地域移行の仕組みなど、重層的な支援体制を構築



すいれんの事務所はリーベル内にあります

令和7年度の主な活動内容

〔緊急時の受入れ対応・・・令和7年度は4名が緊急一時宿泊を利用〕

内訳:精神障害の方2名(筑後市、八女市)、重度の知的障害の方1名(八女市)、身体障害の方1名(筑後市)

〔利用に至った経緯〕

- 1、高齢な父親と2人暮らし、父親の体調悪化に伴い利用
- 2、介護者の姉と2人暮らし、姉の急な体調悪化に伴い利用
- 3、アパートで一人暮らし、住んでいたアパートの火事の被害を受け、住む場所がなくなり利用
- 4、グループホームで生活していたが入居者との関係悪化に伴い退居となり、自宅に戻るも、重度の障害があり家庭での生活が困難となり利用

○利用に至る経緯はさまざま。上記の利用者のなかで1名は緊急一時宿泊の事前登録があった方。

○介護者が不在となった場合に、生活が困難になることが予測される障がいのある方については、緊急一時宿泊の事前登録を勧めている。本人の情報(ADLや服薬内容、どのような介護が必要かなど)を事前に関係機関と共有しておくことで、いざというときに備えておくことができる。

○今年度は、緊急一時宿泊を受入れる事業所との意見交換会を2回開催し、受入側からの意見を聞き、より受入れがスムーズにいくように、フェースシートにどのような情報があればよいのか等を見直し、日中活動先との連携や24時間連絡が取れる先を明記するなど、受入側の不安を少しでも解消できるよう取り組んでいる。

緊急一時的な宿泊事業 登録事業所名簿

令和8年3月1日時点

緊急一時的な宿泊事業登録事業所名 全10事業所	受け入れ対応可能な対象障がい種別								エリア		
	重症心身	身体	知的	精神	強度行動障がい	医療的ケア	難病	障がい児	八女市	筑後市	広川町
蓮の実園 (社会福祉法人 上横山福祉会)		△	◎	△	△	△			○	○	○
蓮の実団地 (社会福祉法人 上横山福祉会)		△	◎	△		△	△	△中学生以上	○	○	○
さくらあと (社会福祉法人 伍福会)		◎	◎	◎	△	△		就学児以上	○	○	
もちのき (社会福祉法人 伍福会)			◎	◎					○	○	
おりーぶ (社会福祉法人 伍福会)		◎							○	○	
カーサ陽だまりの里 (社会福祉法人 明和会)	○	◎	○			△			○		
スターホームYAME (株) 医療福祉ホールディングス)	○	○	○	○				就学児以上	○	○	○
ひととき (社会福祉法人 筑後わかたけ福祉会)		○	◎	○				△	○	○	○
大空 (社会福祉法人 筑後わかたけ福祉会)		○	◎	○				△	○	○	○
虹 (社会福祉法人 筑後わかたけ福祉会)		○	◎	○				△	○	○	○

〔一人暮らしの自立体験ルーム〕

八女市高塚にある民間アパートの1室を自立体験ルームとして活用、18歳以上で、緊急時の連絡が取れるよう携帯電話をお持ちの方が対象。利用には契約が必要。まずは見学を！

〔連絡先〕 すいれん 0943-30-3110



令和7年度 体験ルーム利用状況 (令和8年2月末時点)

○利用実人数11名

- ・八女市 9名 (知的4名、精神5名)
- ・筑後市 2名 (精神2名)

○利用動機、目的

- ・家族との生活から自立したい
- ・家族との生活に疲弊、数日間、家から離れて休息したい
- ・グループホームでの生活から自立したい
- ・グループホームで生活しているが、帰省する場所がないため、時々体験ルームを利用して気分転換したい

○利用した方の様子など・・・隣人や上の階からの生活音や話し声が気になって寝つけなかったり、委縮してしまう方もいれば、隣からこのくらいの生活音が聞こえるなら、自分が出す生活音もそんなに気にしないで良いなと思うことができ、体験ルームで快適に過ごせた方など、利用される方によって感じ方もさまざま。